

# ありがとうございました

NATD

歴史ある社交ダンスプロ教師の協会

前会長 奥村三郎

私が NATD の会長を拝命致しましたのは 2013 年 9 月でした。

先代の竹村会長から受け継ぎ第 10 代目会長になりましたが、その時に真っ先に感じたことは、全てにおいて副会長の立場とは違い責任の重さを痛感した事でした。しかしその時、先輩の一人が「君は一人じゃ無いよ、理事の皆さんや多くの仲間が居るんだからね」この言葉は沢山の勇気を私に与えてくださいました。

最初の 2 年は、ひたすら一つ一つ目の前の課題を無難に乗り越える事でした。第二期目からは NATD の存在意義と向かい合い、ダンス教師の育成、ダンスの普及を目標に進み始めました。ある時会員の方から「先生大変でしょうが私は NATD が好きで会員を続けています。日本一の伝統ある教師協会を頑張って続けてください」との励ましのお言葉をいただきました。しかし協会の現状は社会の高齢化と同じく会員の高齢化が進んでおり、年々会員の減少化に歯止めがかからず苦慮していました。でもどんなことが有っても、会員の皆さんを失望させてはいけないとの思いから、理事一人一人が新しい会員の勧誘に努力し、理事会にも行動力のある若手の理事を起用してまいりました。それにより苦しいながらも一步一步未来を見据えた活発な活動へと舵をきる事が出来るようになって参りました。

アレックス・ムーアカップ、カムアンドダンス作成と販売、月例講習会、一般講習会、ダンスパッション、ダンスマッピング、親睦ダンス祭り等々積極的に行動を広げたのは良いのですが、次第に一人一人の理事への負担が増え、中には疑問を抱き悩んだ理事もいましたが、仲間の力で何とか乗り越え進んで来ました。私自身 4 期 8 年間で振り返って、長かったと言うよりは、もうそんなに経ったのかな、と言う感じです。しかし最後のコロナ禍は、ボクシングで言うボディブローのようにきつかった。人生初めての経験（無論みなさんも）で必死にダウンしない様にジッと耐え続けたと言う事が本音でしょう。

理事達も顔を合わせることが許されない中でも、理事としての職務を果たすべく、それぞれに工夫しながら会の運営にご協力を頂きました。

理事の皆さん、こんな私を支え続けて下さりありがとうございました。最後になり恐縮ですが、会員のみなさん、不器用な私でしたが、8 年間ありがとうございました。

これからも NATD は新しい会長と共に元気に活動して参ります。私も微力ながら共に歩んで参ります。今後どうぞよろしく願いいたします。